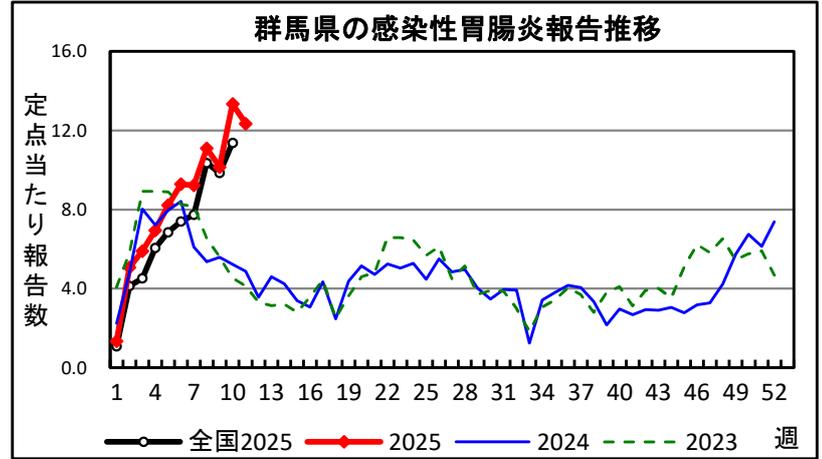


感染性胃腸炎の報告が増加しています!



◆ 群馬県の流行状況

- 冬に患者数が増加する疾患です。
- 例年3月頃にはピークを過ぎ、患者数が減少しますが、今年はいまだに患者数の多い状況が続いています。



◆ どんな病気?

- ウイルス（ノロウイルス、ロタウイルス等）、細菌（サルモネラ、カンピロバクター、病原性大腸菌等）などの病原体が原因となる感染症です。冬に報告される感染性胃腸炎の原因は、多くがノロウイルスによるものと推定されます。
- 手や食品に付着したウイルスなどが口の中に入ることによって感染します。
- 原因となる病原体によって症状は異なりますが、発熱、下痢、腹痛、嘔吐、悪心などが主症状です。
- 抵抗力の弱い乳幼児や高齢者は重症化する場合があります。



◆ 予防するには?

- トイレのあと、食事の前などは流水と石けんを用いた手洗いを行いましょう。
- 肉や魚介類は十分に火を通しまししょう。
- ふん便や嘔吐物の片づけを行う際は、使い捨て手袋やマスクを着用し慎重に行いましょう。

★詳しい情報はこちら

①正しい手洗いの方法について : <https://www.pref.gunma.jp/page/3301.html>

②嘔吐物の処理方法について : <https://www.pref.gunma.jp/page/19740.html>

①



②



※感染性胃腸炎の原因となるウイルスはアルコールが効きにくいことがあります。

ふん便や嘔吐物で汚れた場所の消毒を行う場合は次亜塩素酸ナトリウム（塩素系漂白剤）が効果的です。

（手荒れの原因になるため、次亜塩素酸ナトリウムは手指消毒に使用しないようにしまししょう）



◇下痢や腹痛などの症状がある場合は速やかに医療機関を受診しまししょう

★ 感染性胃腸炎についての詳しい情報 : <https://www.pref.gunma.jp/page/3299.html>

